

所要時間	60～80 分
対象	一般社会人、企業研究者、企業経営者
参加者数（想定）	50 名～100 名
テーマ	石油依存生活からの脱却 ーバイオマス技術から生まれるバイオプラスチック技術のはなしー
目的	①日常生活を見まわし、石油由来のものがどれだけあるか、考えてみよう。 ②石油は資源として有限であり、使えば温室効果ガスである炭酸ガスが大量に放出されることを知ろう。 ③多くの製品がバイオマス技術で、石油を原料とせず作られるようになってきた。 ④バイオマス技術とは何か？実は千葉県はバイオマス技術が育ちやすい地域であることを知ろう。
プログラム	①石油由来の製品。石油利用が抱える問題点。 ②地球温暖化問題と化石燃料（石油、石炭、天然ガス）使用はどのように関係しているか。 ③石油由来製品の多くがバイオマス技術でつくる方法が開発されつつある。それにより地球温暖化抑制・防止に大変役に立つことが明らかになってきた。 ④代表的な例として、千葉県では、森林面積の多い利点を生かし、木からバイオプラスチックの開発と生産を進めている。 ⑤世界的視野で見たバイオプラスチック製造技術はどのように進められているか、千葉県と比較してみよう。
関連リンク	（参考） ● http://www.jccca.org/ （全国地球温暖化防止活動推進センター） ● http://www.jarus.or.jp/biomass/basis/profit.html （一般社団法人 地球環境資源センター） ● http://www.pref.chiba.lg.jp/kankyou-kendo/kankyou/junkan/biomass/index.html （千葉県環境生活部循環型社会推進課） ● http://www.genkimorimoritai.com/99_blank001005.html （NPO 法人 元気森守隊）